

平成 27 年 8 月 11 日

芦屋市 企画部 政策推進課

## 政策推進課事前調査報告書

対象施設：芦屋市立あしや温泉（以下、「あしや温泉」という。）

### 1. 対象施設の概要

所在地：芦屋市呉川町 14 番 11 号

指定管理者：株式会社オーエンス（以下、「オーエンス」という。）

所管課：市民生活部環境課

実施日：平成 27 年 6 月 19 日

### 2. 調査結果

#### （1）指定管理業務の財務に関する調査の結果報告

- 平成 26 年度の「管理業務の実施に係る収支状況」が会計帳簿に基づくものであるかを確認したところ、下記の気付き事項を除いて、総勘定元帳に基づくものであることが確認できた。
- オーエンスは、あしや温泉の事業以外にも事業を行っているが、あしや温泉にて発生した費用を指定管理部門での発生と捉えており、他部門での発生はその都度個別に収支を把握し記帳しているとのことであった。なお、調査の範囲内においては、他の事業の収支が指定管理部門の収支に含まれていることはなかった。
- 「給与等」、「光熱水費」、「委託料」、「求人広告費」、「消耗品費」について、任意に取引を抜き出して関連証憑との突合を行い、日付、金額、相手先及び内容の一致を確かめた。実施結果は、一致した。
- 市に提出されている「あしや温泉入浴者集計表」のうち任意の一日の利用者数について、券売機の売上日計データと突合した結果、一致した。
- 「自主事業売上表【芦屋市立あしや温泉】」のうち任意の一日のアメニティ売上について、券売機の売上日計データと突合した結果、一致した。
- 「自主事業売上表【芦屋市立あしや温泉】」のうち任意の一日のアメニティ売上について、通帳コピーの入金記録と突合した結果、一致した。

- 「小口現金出納簿（手書き）」のうち任意の1か月について、月末残高を銀行の残高記録と突合した結果、一致した。
- 平成26年3月（指定管理者業務開始直前）に実施した実査に基づく備品台帳から抜き取りで現物確認を実施したが、リストの重複や削除漏れが散見された。

## （2）調査の過程で気付いた事項

- 平成26年度の「管理業務の実施に係る収支状況」の一般管理費600,000円は、指定管理部門の総勘定元帳に計上されていなかった。これについては、オーエンスからのサポート、指導人員及び決算業務に係る本社費分を必要経費として別途計上したとの説明を受けたが、本来、月々の請求を本社側から受けて経理処理を行うべきものと考ええる。
- 平成27年5月の「小口現金出納簿（手書き）」において、19日の残高が△1,680円となり29日に補充されるまでの間、オーエンス担当者の持ち出しとなっていた。
- 平成27年5月末のアメニティ在庫の帳簿残高298,470円が実際残高より2,400円過少となっていた。アメニティ在庫については毎月末に実地棚卸を行っているが、実地棚卸残高の記録は担当者の手書メモにとどまっており、継続的な保管もないため帳簿記録との差異分析が困難となっている。
- 現場において市の備品台帳のコピーを有しておらず、現物管理用の備品台帳も作成されていない。また、市の備品ラベルも貼付されているものと貼付されていないものが混在しており、管理が必要な物品が明確にされていなかった。
- 修繕については、修繕必要箇所を管理するリストは作成していないが、市が負担すべき修繕は所管課で把握されており、日常的な不具合は今のところ発生していないとのことである。
- 再委託について、委託先の一覧を作成し、事前に所管課の承認を得るように、指摘した。

(3) 指定管理者の決算推移

オーエンスの貸借対照表及び損益計算書の3期推移（第54期～第56期）は以下のとおりである。

【貸借対照表】

（単位：百万円）

| No. | 項目         | H24年度 | H25年度 | H26年度 |
|-----|------------|-------|-------|-------|
| ①   | 流動資産       | 2,019 | 2,370 | 2,614 |
|     | うち現金預金     | 656   | 940   | 1,030 |
|     | うち売掛金      | 1,106 | 1,120 | 1,195 |
|     | 固定資産       | 804   | 867   | 787   |
| ②   | 資産合計       | 2,824 | 3,238 | 3,402 |
| ③   | 流動負債       | 1,314 | 1,454 | 1,618 |
|     | 固定負債       | 21    | 20    | 15    |
|     | 負債合計       | 1,335 | 1,474 | 1,633 |
|     | 資本金        | 100   | 100   | 100   |
|     | 資本剰余金      | -     | 95    | 95    |
|     | 利益剰余金      | 1,468 | 1,567 | 1,572 |
| ④   | 純資産の部      | 1,488 | 1,763 | 1,768 |
|     | 流動比率(①÷③)  | 154%  | 163%  | 162%  |
|     | 純資産比率(④÷②) | 53%   | 54%   | 52%   |

[補足]

- ✓ 決算書には指定管理業務に伴って発生した資産負債を含んでいると推測される。
- ✓ 平成24年度の純資産の部では、自己株式8,000万円が控除されている。
- ✓ 借入金はいずれの年度でもゼロである。
- ✓ 損益計算書では退職金の支給が発生しているが、退職給付引当金は計上されていない。

## 【損益計算書】

(単位：百万円)

| No. | 項目          | H24 年度   | H25 年度   | H26 年度   |
|-----|-------------|----------|----------|----------|
|     | 建物管理収入      | 8,171    | 8,846    | 8,791    |
|     | コンビニ売上      | 2,322    | 2,410    | 2,454    |
|     | 指定管理等収入     | 3,556    | 3,940    | 4,775    |
|     | その他収益       | 253      | 205      | 123      |
| ①   | 売上高計        | 14,304   | 15,402   | 16,145   |
|     | 売上原価        | (12,586) | (13,625) | (14,392) |
| ②   | 売上総利益       | 1,718    | 1,776    | 1,753    |
|     | 販売費及び一般管理費  | (1,589)  | (1,582)  | (1,708)  |
| ③   | 営業利益        | 128      | 194      | 44       |
|     | 営業外損益       | 16       | 9        | 47       |
| ④   | 経常利益        | 145      | 204      | 92       |
|     | 特別損益        | (50)     | (5)      | (57)     |
|     | 税引前当期純利益    | 94       | 198      | 35       |
|     | 法人税等        | (50)     | (93)     | (19)     |
|     | 当期純利益       | 43       | 105      | 15       |
|     | 売上総利益率(②÷①) | 11%      | 12%      | 11%      |
|     | 営業利益率(③÷①)  | 1%       | 1%       | 0%       |
|     | 経常利益率(④÷①)  | 1%       | 1%       | 1%       |

## [補足]

- ✓ ( )は費用を表している。
- ✓ 決算書には指定管理業務に伴って発生した収益費用を含んでいると推測される。
- ✓ 施設の維持管理が本業であり、売上原価が大きくなる傾向があるため、売上総利益率は10%程度となっている。なお、売上原価の主な発生原価は労務費、外注費であり、合せて毎期10億円前後の発生となっている。
- ✓ 平成26年度の売上高は増収となったが、売上原価率の増加(売上総利益率の減少)及び販売費及び一般管理費の増加により、利益ベースでは減益となっている。

以上